



栄町と成田市で出前あすなろ塾を開催しました。栄町では「学級づくりのポイント～集団を育てる～」と「生徒指導の機能を生かした授業づくり」の研修に7名の先生方が、成田市では「保護者との関係づくり～生徒指導・保護者対応のケース演習～」の研修に15名の先生方が参加しました。

よりよい学級づくり・授業づくりのために、皆さん積極的に研修に参加されていました。研修を通して得られた学びを学校で還元していただきたいと思います。

## 栄町 (令和7年1月17日)

### 当日の様子と 参加者の声



この研修を通して感じたことは、学級づくりにしても生徒指導にしても、よりよいものを築いていくためには、日々の児童の実態の記録をしていくことであると考えました。それらの記録があることで、児童の気付かなかった良い点を、記録を振り返る際に知ることができると授業改善に生かすことができると考えます。また、自分の授業の在り方や言葉かけなどでも改善点を見つけるきっかけになると考えました。

理論で分かっていることも日々の実践でできているか振り返ってみると、中々出来ないと感じました。学級の課題や問題行動に対して具体的に何ができるか、自分で考えたり、他の受講生の考えを聞いたりすることで来週からの授業実践に生かせると思いました。

研修内容をいかして、学級経営を円滑に進めていきます。また、生徒指導の機能を生かした授業づくりをしていきたいです。

研修内容について、アサーショントレーニングを行い、自己表現を適切にできるようにしていきたいと思います。改めて考えるきっかけとなりました。また来週から、子供たちのために取り組んでいきます。

## 成田市 (令和7年1月24日)

### 当日の様子と 参加者の声



改めて、保護者対応について確認することができました。当たり前だからこそ、疎かにしないよう、校内の先生方と声を掛け合い、確認しながら進めて行きたいと思います。



保護者対応について基本的な部分を再確認すると共に新たな視点や気付きがありました。また、生徒指導に携わる同じ役職の先生と検討することでよい刺激になりました。



保護者対応の基本を確認することができました。本校には初任者をはじめ、若年層がたくさんいるので、研修で取り扱い、共通理解を図りたいと思います。